

新潟県のコンクリート

製品メーカー、アドヴァンス(新潟市、玉田孝雄社長)が開発した地盤補強円錐ブロックマット工法「コニカルマット」が、佐渡真野地区の水域環境保全(離島)工事の藻場礁ブロックの基礎にこのほど試験施工された。

同工法は、円錐形コンクリートブロックと高強度繊維シートを接着一体化したマットを、吹弱地盤上に建設する盛土体・構造物・道路等の基礎部に面的に敷設することに

する。

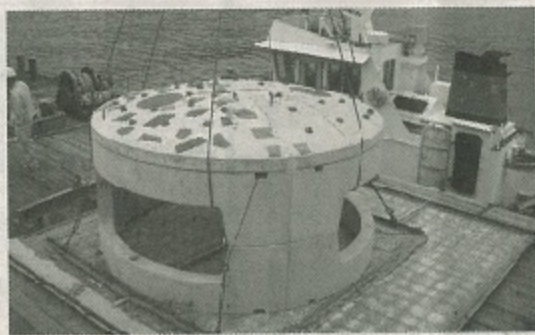
佐渡地区では従来から砂地盤における藻場礁ブロックの沈下が多く発生しており、その沈下抑制対策工法としてコニカルマットが試験礁ブロックの基礎として採用された。今回は、軟弱地盤における支持力補強や不可沈下抑制対策として使用されるコニカルマットを藻場礁ブロックの基礎底部にフレームで挟み込み、ユニット化したもので、これを敷設するだけで藻場礁ブロックの沈下抑制を図ることができる。

コニカルマット基礎のナイスは、効果を検証するために、藻場礁ブロッ

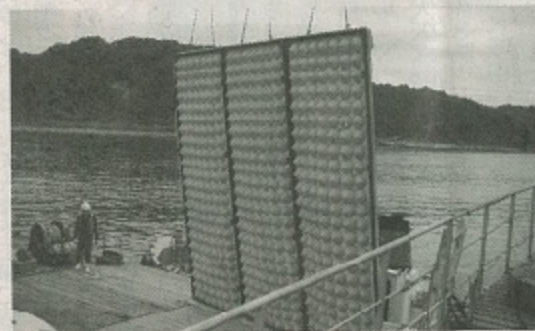
藻場礁基礎に円錐ブロック工法

アドヴァンス

コニカルマット工法 不同沈下を抑制



船上で藻場礁ブロックの下に仮置きしたコニカルマット



コニカルマットの施工状況

ク外周とほぼ同じ大きさの11・5mタイプと、藻場礁ブロックの外周よりも1・0mが大きい、25・0mタイプの2ケースを設置した。発注は新潟県

佐渡地域振興局(新潟県農林水産部水産課委託業務)。

コニカルマット工法は9月2日付で国土交通省のNETIS登録技術の拡大を積極的に推進していく考えた。